



マニュアル
Nero RescueAgent

A large, abstract graphic element is present on the right side of the page. It features two thick, grey, wavy lines composed of numerous thin, parallel horizontal lines. The lines curve from the bottom left towards the top right, creating a sense of motion and fluidity.

著作権および商標情報

ここに記載されるソフトウェアと同様に、本マニュアルはライセンスの一部として提供され、使用許諾書に従ってのみ使用または複製することが許されます。同梱のソフトウェアおよび本マニュアルの内容は、事前の通知なしに変更される場合があります。

Nero AG 社は、本マニュアルの正確さに関する責務を負わないものとし、保証の範囲を超える一切の請求を拒否します。本マニュアルとその内容のすべては、著作権によって保護されており、Nero AG に著作権が帰属します。無断転載を禁止します。また、このマニュアルの内容は、国際著作権条約により保護されています。Nero AG 社の書面による明確な許可なしに、本マニュアルの一部または全部の複製、配布、複写を禁止します。

プロジェクトに挿入または転写しようとしている既存の画像、写真、ビデオ、音楽タイトル、またはその他の素材は、著作権によって保護されている場合があります。これらの素材を許可なく使用することは、その素材について著作権が帰属する所有者の権限を侵害する可能性があります。著作権の所有者から必要なすべてについて使用許諾を取得する必要があります。

著作権を所有しているか、著作権の所有者から許可されているか、あるいはその行為が著作権法の「公正使用」規定にあたる場合を除いて、国内または国際著作権法の違反にあたる場合があります。著作権で保護されたマテリアルの転写、複製、変更、または公表は、損害賠償請求や他の法的手続きの行使につながることがあります。ご自身の権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

Nero Suite に同梱されているアプリケーションには、サードパーティによって開発されたテクノロジが必要なものやデモ版として含まれているものもあります。これらのアプリケーションの当該バージョンを制限なしで使用できるようにするには、オンラインで無料でアクティベートするか、アクティベーションファックスを送信してください。送信されるデータは、サードパーティから使用許諾されているテクノロジをアクティベートするために必要なデータのみです。Nero Suite を制限なく使用するには、インターネット接続が可能な環境、またはファックス機が必要です。

Copyright© 2006 - 2009 Nero AG and its licensors. All rights reserved.

Nero、Nero Digital、Nero BackItUp、Nero Essentials、Nero Express、Nero ImageDrive、Nero LiquidTV、Nero MediaHome、Nero Recode、Nero RescueAgent、Nero ShowTime、Nero Simply Enjoy、Nero StartSmart、Nero Vision、InCD、Move it、Photo Snap、SecurDisc ロゴ、Burn-At-Once、DNC Dynamic Noise Control、LayerMagic、Nero DMA Manager、SmartDetect、SmoothPlay、Superresolution、Nero Surround、Nero LiquidMedia、Nero MediaStreaming および UltraBuffer は、Nero AG 社の商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、および Premiere は Adobe Systems 社の商標または登録商標です。AMD Athlon、AMD Opteron、AMD Sempron、AMD Turion、ATI Catalyst、および ATI Radeon は Advanced Micro Devices 社の商標または登録商標です。ATSC は Advanced Television Committee の商標です。ICQ は AOL 社の登録商標です。ICQ は Advanced Television Committee の商標です。Apple、iPhoto、iPod、iTunes、iPhone、FireWire、および Mac は Apple 社の商標または登録商標名です。ARM は ARM, Ltd 社の登録商標です。AudibleReady は Audible, Inc 社の登録商標です。BenQ は BenQ 社の登録商標です。Blu-ray Disc は、Blu-ray Disc Association の商標です。CyberLink は CyberLink 社の登録商標です。DLNA は Digital Living Network Alliance の登録商標です。DivX および DivX Certified は DivX 社の登録商標です。Dolby、Pro Logic、およびダブル D 記号は Dolby Laboratories 社の商標または登録商標です。DTS および DTS Digital Surround は DTS 社の登録商標です。DVB は DVB Project の登録商標です。Freescale は Freescale Semiconductor, Inc. 社の商標です。Google および YouTube は Google, Inc. 社の商標です。WinTV は Hauppauge Computer Works, Inc. 社の登録商標です。Intel、Intel XScale、Pentium および Core は Intel 社の商標または登録商標です。Linux は Linus Torvalds の登録商標です。Memorex は Memorex Products, Inc. 社の登録商標です。ActiveX、ActiveSync、DirectX、DirectShow、Internet Explorer、Microsoft、HDI、MSN、Outlook、Windows、Windows Mobile、Windows NT、Windows Server、Windows Vista、Windows Media、Xbox、Xbox 360、Windows Vista のスタートボタン、および Windows のロゴは、Microsoft 社の商標または登録商標です。My Space は MySpace, Inc. 社の登録商標です。NVIDIA、GeForce および ForceWare は NVIDIA 社の商標または登録商標です。Nokia は Nokia 社の登録商標です。CompactFlash は、SanDisk 社の登録商標です。Sony、Memory Stick、PlayStation、PLAYSTATION および PSP は Sony 社の商標または登録商標です。HDV は、Sony 社および JVC (Victor Company of Japan) 社の商標です。UPnP は、UPnP Implementers 社の登録商標です。Labelflash は YAMAHA 社の登録商標です。

ここに記載されている商標は情報提供のみを目的としています。すべての商標名、商標はそれぞれの所有者に帰属します。

Nero AG Im Stoeckmaedle 13-15,D-76307 Karlsbad, Germany

目次

1	はじめに	4
1.1	このマニュアルについて	4
1.2	Nero RescueAgent について	4
1.3	Nero RescueAgent のバージョン	5
1.4	Nero RescueAgent を操作する	5
2	プログラムを起動する	6
3	開始画面	7
3.1	記憶域メディアとスキャンレベルを選択する	8
4	[復旧するファイル] 画面	10
4.1	[特定のファイルを表示 / 特定のファイルのみ表示] ウィンドウ 11	
4.2	復旧するファイルを選択する 13	
5	[復旧完了] 画面	15
5.1	ログファイルを保存する 16	
6	終了画面	17
7	技術的な情報	18
7.1	必要動作環境 18	
7.2	対応しているファイルシステム 18	
7.3	キーの組み合わせ 18	
8	用語集	20
9	お問い合わせ	22

1 はじめに

1.1 このマニュアルについて

このマニュアルは、Nero RescueAgent での作業方法を知りたいと思う、すべてのユーザーに向けた構成になっています。内容はプロセスベースになっており、特定の目的を達成する方法を、手順ごとに説明してあります。

このマニュアルを効果的に活用するために、以下の表記ルールに注意してください。

	必ず守っていただきたい、警告、前提条件、または指示を示します。 !
	補足的な情報や、注意メッセージを示します。
1. 最初に、...	行頭の番号は、必要な操作を示します。 番号順に、操作を実行してください。
→	途中結果を示します。
→	結果を示します。
OK	プログラムインターフェースに表示される、テキストの一部またはボタンを示します。 これらは、太字で表記されます。
「」を参照してください。	他章への参照を示します。 リンクと同様に動作し、下線付きの赤色文字で表記されます。
[...]	コマンドを入力するための、キーボードショートカットを表します。

1.2 Nero RescueAgent について

Nero RescueAgent を使用すると、たとえばキズで破損したり、経年によって正確に読み込むことができない記憶域メディアから、ファイルをすばやく、簡単に復旧できます。

Nero RescueAgent で対応している記憶域メディアは次のとおりです。

- CD
- DVD
- ハードディスク

- USB スティック
- メモリカード
- フロッピー

また Nero RescueAgent では、マルチセッションディスクや、パケット書き込みに対応できるように UDF ファイルシステム用にフォーマットされたディスクについても、削除されたファイルおよび古いファイルを復旧することができます。

1.3 Nero RescueAgent のバージョン

Nero RescueAgent には 2 つの異なるバージョンがあります。Nero Suite の Nero RescueAgent と Nero BackItUp & Burn の Nero RescueAgent です。

Nero Suite の Nero RescueAgent ではすべての機能を使用できます。Nero BackItUp & Burn の Nero RescueAgent には次の制限があります。

- 復旧するファイルはセッションにつき 5 つに制限されています。

1.4 Nero RescueAgent を操作する

Nero RescueAgent Assistant を使用すると、わずかな手順でファイルをリストアできます。

必要な各手順は次のとおりです。

- 記憶域メディアとスキャンレベルを選択します。
- 記憶域メディアで復元可能なファイルを検索します。
- 復元するファイルを選択し、ファイルの保存場所を設定します。
- リストア開始
- ログファイルの保存（オプション）

これで、新しいスキャンの開始、記憶域メディアの再スキャン、ファイルのリストア、または Nero RescueAgent の終了を選択できます。

以下も合わせてご覧下さい:

- 記憶域メディアとスキャンレベルを選択する→ 8
- 復旧するファイルを選択する→ 13
- ログファイルを保存する→ 16

2 プログラムを起動する

Nero RescueAgent を起動するには、次の手順を実行します。

1. Nero Suite を使用し、Nero StartSmart を使用可能にする場合:

1. [Nero StartSmart] アイコンをクリックします。

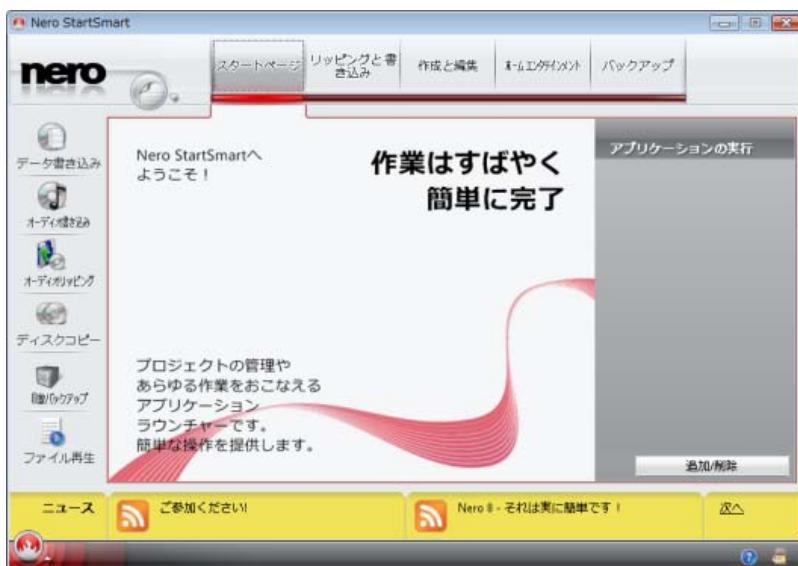
→ Nero StartSmart ウィンドウが開きます。

2.  ボタンをクリックします。

→ Nero アプリケーションのリストが表示されます。

3. この選択リストから [ツールボックス] > [Nero RescueAgent] を選択します。

→ [Nero RescueAgent] ウィンドウが開きます。



[Nero StartSmart] ウィンドウ

2. Nero BackItUp & Burn を使用している場合:

1. [Nero BackItUp] アイコンをクリックします。

→ [Nero BackItUp] ウィンドウが開きます。

2. Nero RescueAgent ボタンをクリックします。

→ [Nero RescueAgent] ウィンドウが開きます。

→ Nero RescueAgent が起動しました。

3

開始画面

Nero RescueAgent の開始画面では、データをリストアする記憶域メディアを選択できます。さらに高速スキャンと詳細スキャンのいずれかを選択できます。



開始画面

次の設定オプションが使用できます。

ドロップダウンメニュー —	データをリストアする記憶域メディアを選択します。
データを復旧するドライブ / メディア:	
オプションボタン 高速スキャン	高速スキャンを選択します。高速スキャンでは、記憶域メディアの FAT ファイルシステムのみが検索されます。高速スキャンを使用すると、削除されたファイルや古いファイルを検索できます。

オプションボタン 詳細スキャン	詳細スキャンを選択します。 詳細スキャンでは、記憶域メディア全体が検索されます。 詳細スキャンでは、個々の欠陥のあるメタファイルエントリ、破損ファイル、読み込み不可能になったセクタの他、削除されたファイルや、FAT ファイルシステムで表示されなくなったファイルが検索されます。 詳細スキャンは、高速スキャンよりもかなり時間がかかります。
ボタン ヘルプ	ヘルプウィンドウが開き、プログラムとバージョン番号に関する情報が表示されます。
ボタン 次へ	復旧できるファイルの検索を開始します。

3.1 記憶域メディアとスキャンレベルを選択する

記憶域メディアとスキャンレベルを選択するには、次の手順を実行します。

- 目的のディスクをドライブに入れるか、目的の記憶域メディアをコンピュータに接続します。
- ドロップダウンメニューの [データを復旧するドライブ/データメディア] から記憶域メディアを選択します。
- 目的のスキャンレベルを選択します。



高速スキャンでは、記憶域メディアの FAT ファイルシステムのみが検索され、削除されたファイルと古いファイルが検出されます。

詳細スキャンでは、記憶域メディア全体が検索されます。 詳細スキャンでは、個々の欠陥のあるメタファイルエントリ、破損ファイル、読み込み不可能になったセクタの他、削除されたファイルや、FAT ファイルシステムで表示されなくなったファイルが検索されます。

詳細スキャンは、高速スキャンよりもかなり時間がかかります。

4. [次へ] ボタンをクリックします。

→ [高速スキャンの処理中] 画面または [詳細スキャンの処理中] 画面が表示されます。

進行状況はここで確認できます。検索が終了すると、[復旧するファイル] 画面が表示されます。

以下も合わせてご覧下さい:

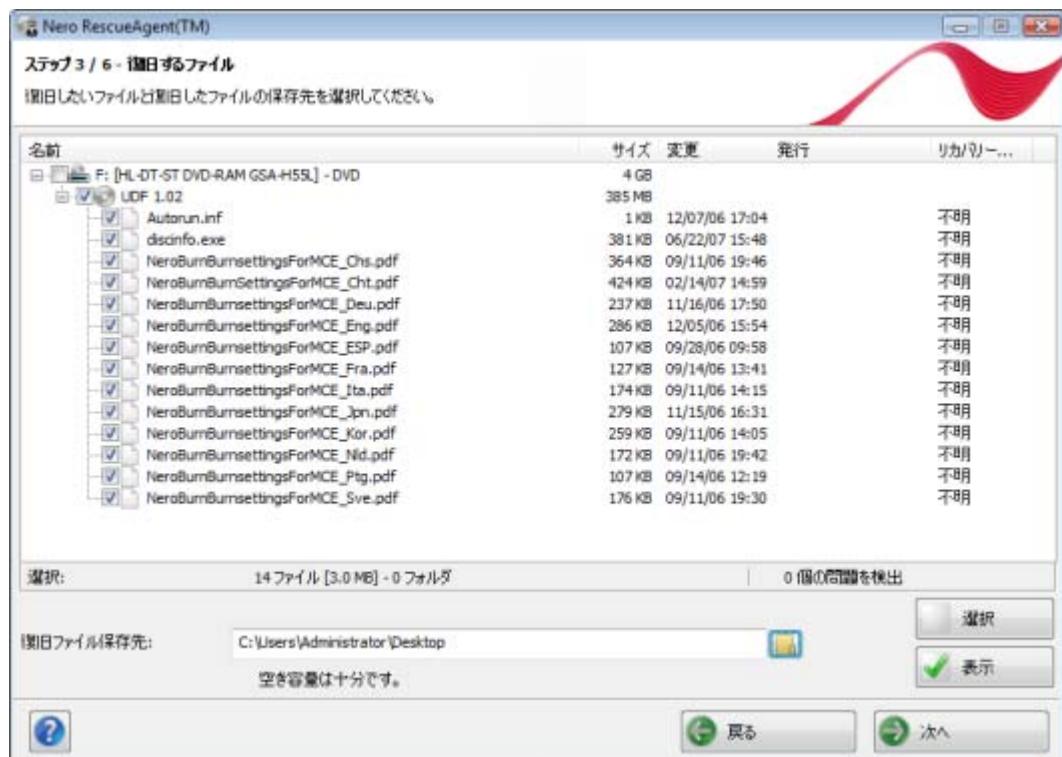
■ 復旧するファイルを選択する→ 13

■ 開始画面→ 7

[復旧するファイル]画面

4 [復旧するファイル]画面

[復旧するファイル]画面には、リストアできるすべてのファイルが一覧されます。ファイルが部分的にしかリストアできない場合、それらのファイルは黄色でマークされます。ファイルをリストアできる可能性が低い場合、それらのファイルは赤色でマークされます。



[復旧するファイル]画面

次の設定オプションが使用できます。

ボタン 選択	[特定ファイル選択] ウィンドウが開きます。このウィンドウでは、特定の条件に従ってファイルを選択でき、リストアする問題のカテゴリも選択できます。
ボタン 各表示	[特定のファイルのみ表示] ウィンドウが開きます。このウィンドウでは、特定の条件に従ってファイルを選択でき、リストアする問題のカテゴリを選択できます。

[復旧するファイル]画面

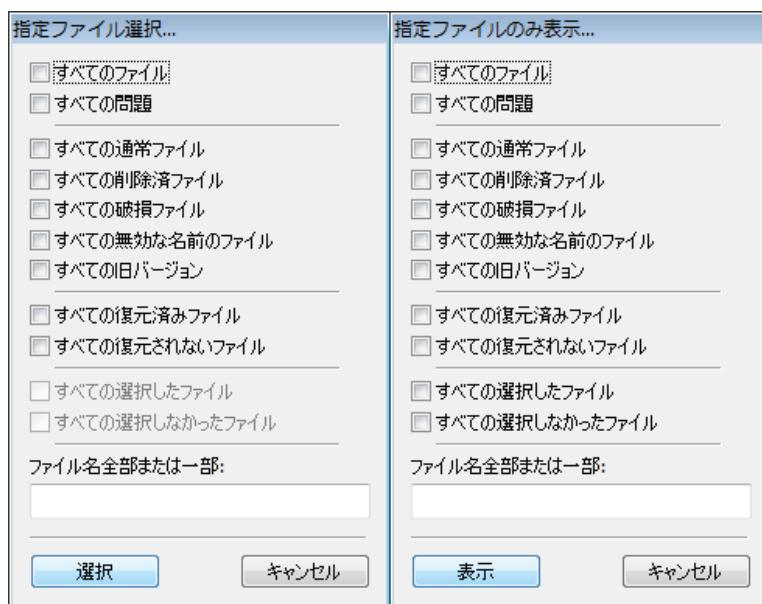
ボタン	[フォルダの参照] ウィンドウを開きます。
ボタン	このウィンドウから、リストアされたファイルを保存するフォルダを設定できます。
ボタン 戻る	開始画面に戻ります。
ボタン 次へ	選択したファイルの復旧を開始します。 リストアするファイルの保存場所がすでに設定されている場合のみ使用できます。

以下も合わせてご覧下さい:

■ 復旧するファイルを選択する → 13

4.1 [特定のファイルを表示 / 特定のファイルのみ表示] ウィンドウ

[特定ファイル選択] ウィンドウと [特定ファイルのみ表示] ウィンドウでは、ファイルを選択して [復旧するファイル] 画面で表示できます。ファイルは特定の条件と問題カテゴリに従って選択可能で、長いリストであっても簡単な概要を取得できます。



[特定ファイル選択] および [特定ファイルのみ表示] ウィンドウ

[復旧するファイル] 画面

次の設定オプションが使用できます。

チェックボックス すべてのファイル	すべてのファイルを選択または表示します。
チェックボックス すべての問題	すべての問題のカテゴリからすべてのファイルを選択または表示します。
チェックボックス すべての通常ファイル	すべてのファイルを選択するか、障害が見つかっていないファイルを表示します。
チェックボックス すべての削除済ファイル	すべての削除されたファイルを選択または表示します。
チェックボックス すべての破損ファイル	すべての破損しているファイルを選択または表示します。 Nero RescueAgent は、開始画面で [詳細スキャン] オプションが選択されている場合のみ破損しているファイルを検索します。
チェックボックス 不正なファイル名を持つすべてのファイル	不正なファイル名を持つすべてのファイルを選択または表示します。 Nero RescueAgent は、開始画面で [詳細スキャン] オプションが選択されている場合のみ不正な名前を持つファイルを検索します。
チェックボックス すべての旧バージョン	すべての旧バージョンのファイルを選択または表示します。
チェックボックス すべての復元済みファイル	すべてのリストア可能なファイルを選択または表示します。
チェックボックス すべての復元されないファイル	すべてのリストアできないファイルを選択または表示します。

[復旧するファイル]画面

チェックボックス すべての選択したファイル	選択したすべてのファイルを表示します。 [特定のファイルを表示]ウィンドウでのみ使用できます。
チェックボックス すべての選択しなかったフ ァイル	選択されていないすべてのファイルを表示します。 [特定のファイルを表示]ウィンドウでのみ使用できます。
入力フィールド ファイル名全部または一部:	[復旧するファイル]画面に一覧されているファイルから検索する用語をここに入力します。検索用語を含むすべてのファイルが一覧で表示されます。
ボタン 選択	[特定ファイル選択]ウィンドウを閉じて、[復旧するファイル]画面で選択されているすべての条件と問題のカテゴリをマークします。
ボタン 各表示	[特定ファイルのみ選択]ウィンドウを閉じて、[復旧するファイル]画面に選択されているすべての条件と問題のカテゴリを表示します。
ボタン 閉じる	[特定ファイル選択]および[特定ファイルのみ表示]ウィンドウを閉じます。

4.2 復旧するファイルを選択する

[復旧するファイル]画面には、リストアできるすべてのファイルとフォルダの一覧が表示されます。一覧はかなり長くなることもあります。特定の条件や問題のカテゴリに従ってファイルを表示することができます。ファイルは、フォルダツリーからも選択できます。

次の要件を必ず満たしてください。

- 目的の記憶域メディアでリストアするファイルを検索済みである。
- [復旧するファイル]画面が表示されます。

特定の条件と問題のカテゴリに従ってファイルを選択するには、次の手順を実行します。

1. [選択]ボタンをクリックします。
→ [特定ファイル選択]ウィンドウが開きます。

[復旧するファイル] 画面

2. 条件のチェックボックスをオンにするか、[ファイル名全部または一部] 入力フィールドに検索用語を入力して、[選択] ボタンをクリックします。
→ [特定ファイル選択] ウィンドウが閉じます。[選択] ボタンに緑のチェックが付きます。
3. [表示] ボタンをクリックします。
→ [特定ファイルのみ表示] ウィンドウが開きます。
4. 条件または問題のカテゴリのチェックボックスをオンにするか、[ファイル名全部または一部] 入力フィールドに検索用語を入力して、[表示] ボタンをクリックします。
→ [特定ファイルのみ表示] ウィンドウが閉じます。[表示] ボタンに緑色のチェックが付きます。
5.  ボタンをクリックしてリストアするファイルのターゲットフォルダを設定します。
→ [フォルダの参照] ウィンドウが開きます。

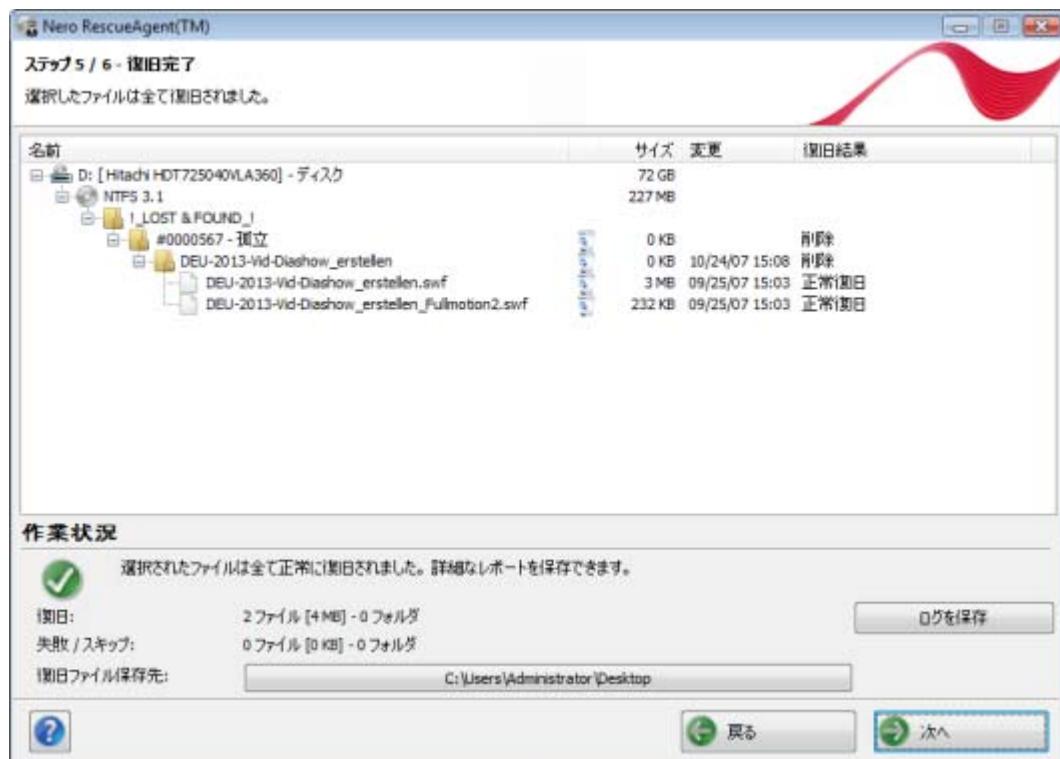
 ファイルを保存するフォルダは、ファイルをリストアするのと同じ記憶域メディアに置かないようにする必要があります。
6. ファイルを保存するフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
→ [フォルダの参照] ウィンドウが閉じます。
7. [次へ] ボタンをクリックします。
→ Nero RescueAgent によって、選択したファイルのリストアが開始されます。記憶域メディアの破損状態によっては、時間がかかる場合があります。リストアが完了すると、[リストア完了] 画面が表示されます。

以下も合わせてご覧下さい:

- ログファイルを保存する → 16
- [復旧するファイル] 画面 → 10
- [特定のファイルを表示 / 特定のファイルのみ表示] ウィンドウ → 11

5 [復旧完了] 画面

復旧されたファイルはすべて [復旧完了] 画面に表示されます。この画面には、復旧できなかったファイルの数も表示されます。実行した復旧の概要情報として、ログファイルを保存できます。



[復旧完了] 画面

次の設定オプションが使用できます。

ボタン	[名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。
ログを保存	ログファイルの保存場所を指定できます。ログファイルは TXT 形式で保存されます。
ボタン 場所	リストアされたファイルが保存されているフォルダを開きます。

コンテキストメニュー	マークされたファイルが保存されているフォルダを Windows Explorer で開きます。
このフォルダを開く	
ボタン 戻る	[リストアされるファイル] 画面に戻ります。
ボタン 次へ	Nero RescueAgent の終了画面に切り替えます。

5.1 ログファイルを保存する

次の要件を必ず満たしてください。

- これで、Nero RescueAgent を使用したリストアは完了です。
- [リストア完了] 画面が表示されます。

ログファイルを保存するには、次の手順を実行します。

1. [ログを保存] ボタンをクリックします。
→ [名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。
2. ログファイルを保存するフォルダを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
→ [名前を付けて保存] ダイアログが閉じます。
3. [次へ] ボタンをクリックします。
→ Nero RescueAgent の終了画面が表示されます。 この画面では、新しいスキャンの開始、同じ記憶域メディアの再スキャン、その他のファイルのリストア、または Nero RescueAgent の終了を選択できます。

以下も合わせてご覧下さい:

〔復旧完了〕画面 → 15

6 終了画面

終了画面では、新しいスキャンの開始、同じ記憶域メディアの再スキャン、その他のファイルのリストア、または Nero RescueAgent の終了を選択できます。

次の設定オプションが使用できます。

メニューアイコン 新規スキャン	開始画面に戻ります。
メニューアイコン 同じドライブをス キャン	同じドライブを、同じスキャンオプションで再スキャン開始します。
共有フォルダメニ ューアイコンメニ ューアイコン さらにファイルを 復旧	[復旧するファイル] 画面に切り替わります。この画面では、リス トアするファイルをさらに選択できます。または、すでに選択した ファイルの再リストアを開始することもできます。
メニューアイコン このアプリケーシ ョンを閉じます	Nero RescueAgent を閉じます。
ボタン 閉じる	Nero RescueAgent を閉じます。

7 技術的な情報

7.1 必要動作環境

Nero RescueAgent は Nero 製品と一緒にインストールされます。インストールされた製品と同じ条件が適用されます。システム要件についての詳細は、www.nero.com でご確認ください。

7.2 対応しているファイルシステム

- UFD (バージョン 1.0 ~ 2.6)
- CDFS (ISO 9660 Joliet を含む) 。
- マルチセッションディスク
- UDF/ISO ブリッジディスク
- NTFS
- FAT 16, FAT 32 ; ExtFAT

7.3 キーの組み合わせ

Nero RescueAgent では、事前定義済みのキーの組み合わせによってメニュー命令を即時実行できます。

次に示すキーの組み合わせを利用できます。

<Ctrl + B>	前の画面に戻ります。
<Ctrl + R>	復旧を開始します。 [復旧するファイル] 画面でのみ使用できます。
<Ctrl + S>	選択した記憶域メディアでのファイルの検索を開始します。 開始画面でのみ使用できます。
<Ctrl + C>	ファイルのリストアを中断します。 [ファイルを復旧中] 画面でのみ使用できます。

<Ctrl + A>	ディスクのすべてのファイルを選択します。 [復旧するファイル]画面でのみ使用できます。
<Ctrl + P>	問題が特定され、リストアが必要なファイルをすべて選択します。 [復旧するファイル]画面でのみ使用できます。
<Ctrl + D>	[フォルダの参照] ウィンドウを開きます。 [復旧するファイル]画面でのみ使用できます。
<Ctrl + L>	[名前を付けて保存] ウィンドウが表示されます。ここで、ログファイルを保存したり、保存場所を指定したりできます。 [復旧完了]画面でのみ使用できます。
Ctrl + Pos 1	開始画面に戻ります。 ログファイルを保存したり、保存場所を指定したりできます。[復旧完了]画面でのみ使用できます(を参照)。
Alt + [+] ボタン	選択した項目、または項目が選択されていない場合はルートから始まるフォルダツリーの項目をすべて展開します。 [復旧するファイル]画面でのみ使用できます。
Alt + [-] ボタン	選択した項目、または項目が選択されていない場合はルートから始まるフォルダツリーの項目をすべて非表示にします。 [復旧するファイル]画面でのみ使用できます。
Esc キー	Nero RescueAgent を閉じます。

8

用語集

FAT

FAT (File Allocation Table) は、Microsoft によって開発されたファイルシステムです。

FAT 12、FAT 16、および FAT 32 ファイルシステムは、あらゆるタイプのモバイル記憶域メディア (USB スティックやメモリカードなど) で採用されています。

ISO 9660

国際標準化機構により、CD の機能を標準化する国際規格 9660 が定められました。このフォーマットは、プラットフォームに依存しないため OS が異なるコンピュータで読み込みが可能です。汎用的な可読性を確保するために、できるだけ短いファイル名を使用する必要があります (DOS 環境では、8 文字以上は使用できません) 。

Joliet

Joliet とは、ファイル名に関する ISO-9660 標準の拡張形式です。Joliet は、長いファイル名に対応できるよう Microsoft 社により設計されました。64 文字までのファイル名を使用することができ、A ~ Z、a ~ z、ウムラウト記号、および ß が含まれています。

NTFS

New Technology File System は Windows® ファイルシステムです。アクセス管理や権限管理を個別に設定できることや、データ記憶域を最適化して処理速度を維持できる、などの利点があります。

Packet-Writing

パケットライティングとは、光メディアに少しずつ書き込む処理を言います。そのため、DVD などの光メディアをハードドライブとして使用することができます。この方法では、個々の光メディアでファイルのコピー、移動、変更、または消去を行うことができます。

UDF

UDF (Universal Disc Format) はプラットフォームに依存しないファイルシステムです。ファイル名は最大 255 文字まで指定でき、8 ビットと 16 ビットの文字セットに対応しています。

ブリッジディスク

ブリッジディスクとは、CD ドライブだけでなく、CD-I デバイス (Photo CD など) からでも読み込みできる特殊な CD-ROM のことです。 White Book Standard で規定されたもので、CD-ROM に XA (Standard Architecture) トランクの追加情報を含みます。

マルチセッションディスク

マルチセッションディスクには固定されていない複数のセッションを含むことができます。そのため、後から新しいセッションにデータを追加でき、ディスクはいっぱいになるまで閉じられません。

9 お問い合わせ

Nero RescueAgent は、Nero AG の製品です。

Nero AG

Im Stoeckmaedle 13-15	Web :	www.nero.com
76307 Karlsbad	サポート :	http://support.nero.com
ドイツ	Fax :	+49 724 892 8499

Nero Inc.

330 N Brand Blvd Suite 800	Web :	www.nero.com
Glendale, CA 91203-2335	サポート :	http://support.nero.com
アメリカ	Fax :	(818) 956 7094
	E メール:	US-CustomerSupport@nero.com

株式会社 Nero

1-2-2 口一バーセンター北 8F-B	Web :	www.nero.com
都筑区中川中央	サポート :	http://support.nero.com
神奈川県横浜市		
日本 224-0003		

Copyright(C) 2009 Nero AG and its licensors. 無断転載を禁止します。